

## 産業部門

区分	意見・課題等
温暖化アセスメント	温暖化アセスの削減指導方法は、企業にとっては、ルール化してほしいのではないか。(新澤委員)
排出量取引	地方レベルではしない方がよい。(新澤委員)
計画・実績報告制度	排出量報告・公表は、すでに標準的になってきているので、評価制度を入れるかがポイントである。(大久保委員) 第三者機関による評価委員会などがあったほうがよい。例えば、事業所の報告値が正しいか検証したり、改善点を提案したりできるのではないか。(北村委員)
環境配慮製品	LCA の評価は、企業側で率先して、製品製造にかかる CO2 排出量を自主的に公表するようなシステムにしてほしい。(小林委員) LCA による削減分を事業者の排出量から差し引くのは、ダブルカウントなどの問題がある。(新澤委員)
中小事業所対策	中小企業の省エネ診断を簡易に行ってもらいたい。企業は経費面しか調べていないので、実際の削減量を把握する必要がある。精緻な診断はハードルが高い。(中小企業家同友会) 少しぐらい利益が増えるよりも、例えば山に植林をするなど、取組を見える化した方が、全体としての取組に参画する動機づけになる。(中小企業家同友会)

## 業務部門

区分	意見・課題等
CASBEE	大阪市では、総合設計と CASBEE をリンクさせて、容積率の緩和などを行っている。その他、CASBEE をしたうえで、一定の評価以上となるよう行政指導をするなど地域で独自色を出している場合もある。兵庫県でも独自色を出せないか。(大久保委員)
設備導入	人がこまめにスイッチを切るのは限界があるので、人感センサーなどで、自動で照明、空調等のスイッチが切れるようにすべき。(北村委員)
中小事業所対策	業務部門の中小事業所の数は多いだろうが、大規模と異なり投資が進まない。オーナーの意識次第であり、何らかの支援が必要ではないか。(森山委員)

## 家庭部門

区分	意見・課題等
うちエコ診断	うちエコ診断の受診を積極的に呼びかけすべき。どこからどれだけ CO2 が出ているかわかっていない人は多いと思う。田舎の人でもどれだけ出しているか気づいていない。(岡田委員) 大人に環境教育をしても、なかなか浸透しないので、まず、子供に教え、それが、親など家族に広がるようにすべき。(岡田委員) うちエコ診断士などの資格を作ってはどうか。(岡田委員) 地元の人が集まる自治会館、あるいは小・中学校と連携して取り組むのが現実的。 リフォーム、新築、引越するときの住宅性能の知識も提供できれば良いものになるのではないか。(森山委員)
設備導入	LED 照明に補助や必要な情報を提供して普及を図ったらよいと思う。(北村委員・小林委員)

## 運輸部門

区分	意見・課題等
電気自動車	充電器の料金は、IC カードで課金するシステムを提案すればよいのではないか。(小林委員)

## グリーンエネルギー

区分	意見・課題等
クリーンエネルギー全般	関西広域連合が発足したので、広域レベルで関西電力と協議し、クリーンエネルギーの全量買取のモデルを提案してはどうか。(羽田野委員)
	太陽熱などベストミックスでかつエネルギーの安全保障を考えるべき。(森山委員)
太陽光発電・太陽熱利用	太陽熱設備については、供給、メンテ等の体制を整えた健全な会社の育成が必要。(森山委員)
	住宅向けの太陽光発電施設の普及には、国の補助だけでなく、自治体からの後押しも必要。(山根委員)
バイオマス利用、バイオ燃料	間伐材は、森林に放置され、逆にCO2の発生源となっている。運び出して、利用を考えるべき。(羽田野委員・新澤委員)
	県内のバイオマス資源が利用される仕組みを構築すべき(新澤委員)
	昨年、法改正により、ガス会社、燃料会社にバイオマス活用の義務付けがあったので、採算ののらないものを補助してはどうか。また、情報データベースを作ってはどうか。(新澤委員)
	木質バイオマスについては、樹種を変えていくとか、百年の計くらいでどうしていくか考えていくべき。(森山委員)
	電気自動車は高額で、走行距離が100km程度しかないので、すぐには普及しない。今ある燃料をバイオ燃料に切り替えるべき。(山根委員)
	収集した廃食用油は集めたところで製造するなど、自治体が廃食用油の回収システムを整えることが必要。(山根委員)

## まちづくり関連

区分	意見・課題等
まちづくりとの連携	農山村へのI・Uターンを支援し、エネルギーを地産地消できるモデル地区を作れないか。(大久保委員・岡田委員)
	限界集落のようなところでは、小水力発電があれば、1軒分の電気はまかなえる小水力発電で民家の電気をまかなうような取り組みができないか。(大久保委員)
	脱近代化、都市から地方への分散が必要であり、農山村でもコンパクトシティ化は可能である。(岡田委員)
	コンパクトシティに向けた具体的な取り組みはないのか。(大久保委員)
	千代田区では、区内2地区の地区計画で、建物の単位面積あたりのCO2排出量目標値を設定している。(大久保委員)
	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律では、公共交通に関する計画策定の項目があり、温暖化対策についても配慮することが求められている。(大久保委員)
	自治体の取り得る対策としては、エコな交通ネットワークの整備が必要ではないか。市町でしかできないかもしれないが、検討しておくべき。(森山委員)

## ヒートアイランド

区分	意見・課題等
ヒートアイランド	太陽光や太陽熱を設置する一方で、クーラー廃熱は野放しとなっている。風の道の形成が必要ではないか。建坪率を下げることや道を拡げることで風の通りが良くなる。 10年スパンでできることであれば、緑陰、日陰を増やすこと。バス停や歩行道に緑陰を作れば温度を下げられる。(森山委員)

## 全般的事項

区分	意見・課題等
全般的事項	暮らし方と価値観を変えないと地球環境問題は解決しない。産業構造を守るのではなく、ライフスタイルを見直す議論をすべき。(岡田委員)
電気の低炭素化	電気使用量を減らすのは、限界があるので、電気を低炭素化すべき。現状では、原子力発電の利用を進めるしかない。その他、夜間電力の利用など効率的な電力使用を進めるべき。(北村委員)